

**■特に注意していただきたいこと(安全のために必ずお守りください)**

ここに示した事項は **△注意** を表示しています。

- △注意:** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。
- !** マークは「指示」 **🚫** マークは「接触禁止」

**△注意(CAUTION)**

- ★**適合する機器の確認**  
適合する機器の型式の呼びが合っていることを確認してください。予想もしない事故が発生するおそれがあります。

**!**  
確認
- ★**保護具の着用**  
機器の分解時は、保護具(手袋など)を着用してください。誤ってけがをするおそれがあります。

**!**  
指示
- ★**高温部に注意**  
必ずストーブを消火し、ストーブの温度が十分に下がってからおこなってください。やけどのおそれがあります。

**🚫**  
接触禁止
- ★**乾電池を取りはずす**  
必ずストーブの乾電池を取りはずしてからおこなってください。やけどのおそれがあります。

**!**  
指示
- ★**廃棄するとき**  
交換したしんは乾燥させてからビニール袋に入れて廃棄してください。廃棄処理の際、予想しない事故が発生するおそれがあります。灯油の廃棄処分は、灯油をお買い求めになった販売店にご相談ください。

**!**  
指示

**お願い(NOTICE)**

- ★**しん取り付け後の確認**

  - しん上下操作をして、しんの上下が円滑にでき、しんの高さが規定寸法どおり均一にそろっていることを確かめてください。
  - 対震自動消火装置を作動させて、しんが確実に下がることを確かめてください。
  - 点火操作をして、正常に燃焼することを確かめてください。
- ★**変質灯油や不純灯油に注意**  
変質した灯油、不純灯油、汚れた灯油、水のまじっている灯油などを使用しないでください。異常燃焼や故障(点火しにくくなる、しんが下がらなくなる、火が消えなくなる、など)の原因となり、しんの寿命が短くなります。
- ★この耐熱しんの上端部は、特殊な材料の繊維を使用していますので、糸のほつれ程度を切るだけで先端を「はさみ」などで切らないでください。
- ★しんを交換したときは、給油後、約20分以上待って、しんに灯油が十分に吸い上げられてから点火してください。十分に吸い上げられていない状態で点火しますと、しんを傷めます。

**TOYOTOMI** 《純正部品》 **TTS2-24**  
トヨストーブ 替しん

**石油燃焼機器用しん 取扱説明書**



**トヨ耐熱しん 第24種**

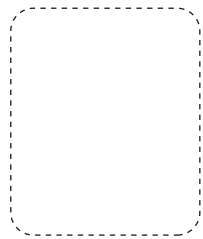
●しんの交換をする前に、必ずこの「取扱説明書」を読んで、正しくおこなってください。(しん交換のしかたがわからない場合は、販売店にご相談ください。)

替しんの型式名	トヨ耐熱しん 第24種
種類	普通筒しん
呼び寸法	φ105×3.5
からやきの可否	からやき可

適合する機器の型式表		参照
トヨストーブ	KR-47A	①

しん品番 : 4560000680

商品コード	11002307
品名	タイネツシンクミタテ



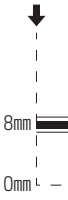
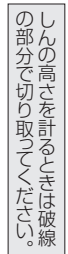
JIS S 2038 石油燃焼機器用しん

株式会社 **トヨトミ** 製造 SILVER SIM

株式会社 **トヨトミ**

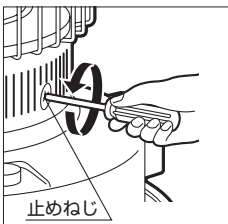
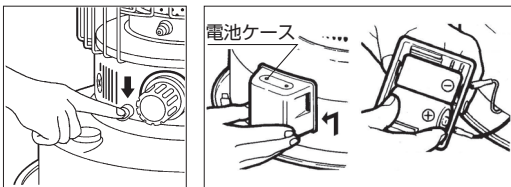
ホームページ <http://www.toyotomi.jp>  
 本社 〒467-0855  
 名古屋市瑞穂区桃園町5番17号  
 フリーコール 0120-104-154  
 TEL (052)822-1144  
 FAX (052)822-2742

しん高さ確認ゲージ

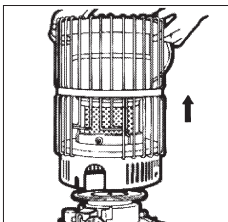


# 適合する機器の型式表 の 参照 ① の機種

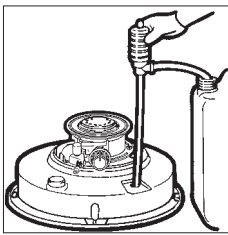
1. 対震自動消火装置を作動させてください。  
乾電池を電池ケースから取りはずしてください。



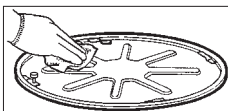
2. 本体と油タンクの  
接合部の止めねじ  
3本を取りはずして  
ください。



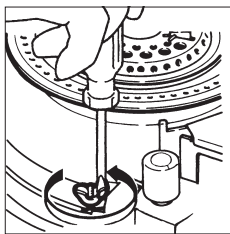
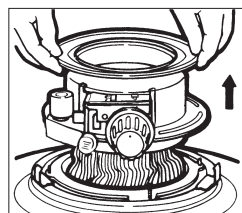
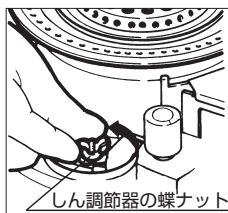
3. 本体をゆっくり持ち  
上げて体と燃焼筒を  
取りはずしてください。



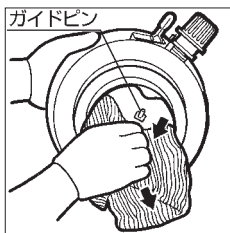
4. 給油口ふたを取りはずし、  
市販の給油ポンプの  
吸込側を油タンクに  
差し込んで、油タンク  
内の灯油を抜き取っ  
てください。  
残った灯油は、布切れ  
などで吸い取って  
ください。  
置台のほこり、ごみを  
取りのぞいてください。



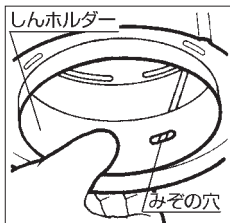
5. しん調節器の蝶ナット4本を取りはずし、  
しん調節器を上を持ち上げて取りはずして  
ください。



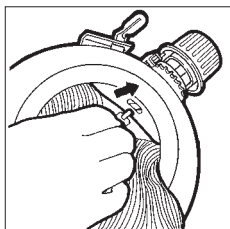
● 蝶ナットが回しにくい  
場合は、マイナスドラ  
イバーなどを使って  
蝶ナット(4箇所)を  
取りはずしてください。  
この時、無理に回すと  
ねじ山をつぶすおそれ  
がありますので、  
ご注意ください。



6. 古いしんを四つ折りに  
するようにしてガイド  
ピン(3箇所)をしん  
調節器からはずし、  
しんを下へ引き抜い  
てください。  
しんホルダーを変形  
させないように注意し  
てください。



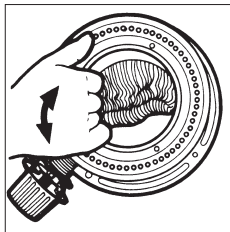
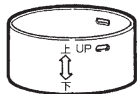
7. しん調節器内側のみぞの  
穴と、しんホルダーの  
穴を合わせてください。



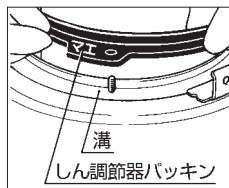
8. 新しいしんを軽く四つ  
折りにして、しんホルダー  
の穴と、しん調節器  
のみぞの穴にしんの  
ガイドピンを3箇所を  
差し込んでください。  
しんホルダーを変形  
させないように注意し  
てください。

お願い

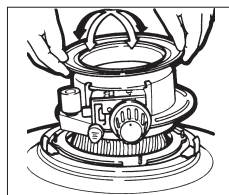
この時しんホルダーの上下を  
間違えないでください。



9. しんをしん調節器の  
内側に指で押しつけ  
ながら充分になつかせ  
てください。  
充分になつかせないと、  
対震自動消火装置が  
作動した時に、しんが  
下がらないことが  
あります。



10. しん調節器パッキンが  
正しくセットされて  
いるか確認してくだ  
さい。  
パッキンの表示(マエ)  
位置を合わせて取り  
つけてください。



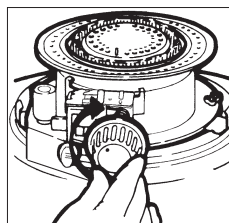
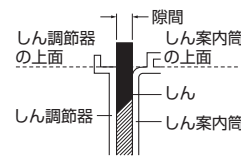
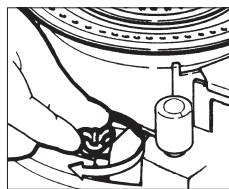
11. しんの下部を広げて、  
油タンクとしん調節  
器にしんをなつかせ  
るために、前後左右に動かし  
ながらしん調節器を  
はめ込んでください。

お願い

しんのほつれや、糸が油タンク外に出ない  
ように注意してください。

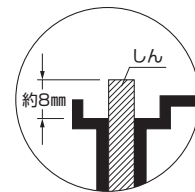
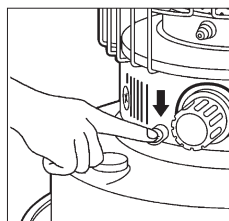
12. しん案内筒としん調節器の隙間が全周揃って  
いる所で、しん調節器の蝶ナット4本で  
均等に締めてください。  
1箇所のみ締め付けるのではなく、均等に  
徐々に締めてください。

しん調節器の上面としん案内筒の上面(燃焼筒  
ののる面)の高さが揃っていることを確認し  
てください。(揃いが悪いと炎が片燃えします。)

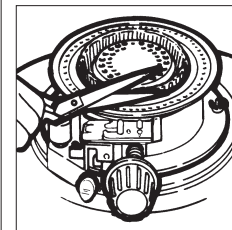


13. しん調節つまみを  
右(→)に止まるまで  
回して、しんを上げ  
てください。

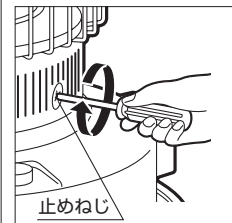
対震自動消火装置を  
作動させ、しんがスムーズに  
確実に下がることを  
2~3回確認してください。  
しんの上下がスム  
ーズでない場合は、しん  
のなつかせかたが悪い  
ためです。もう一度9  
項からやりなおして  
ください。



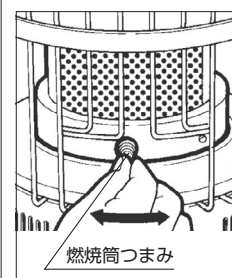
14. しんを最大に上げた時、  
しんの高さは標準  
(**でるでるつまみの①の**  
穴に固定ピンの凸部を  
入れてください。)で  
約8mmです。しんが  
約8mmの高さに均一に  
揃っていることを確認  
してください。



しん上端の糸のほつれ  
等は、はさみで取り  
除いてきれいに整理し  
てください。  
裏表紙の横のしん高さ  
確認ゲージを使用して、  
しんの高さを確認し  
てください。



15. 本体をかぶせ、燃焼筒  
を正しくしん調節器の  
上に乗せて、止めねじ  
3本で固定してください。



16. 燃焼筒つまみを軽く  
左右に2~3回動かし、  
燃焼筒が正しくしん  
調節器にセットされて  
いるか、しんの上  
のっていないかを必ず  
確かめてください。

17. 乾電池を、電池ケースに⊕⊖を正しく  
合わせて入れてください。  
乾電池の入れ方が⊕⊖逆ですと、点火でき  
なかったり、点火しにくくなります。

18. 油タンクに給油してから、20分以上待つて、  
しんに灯油が充分に吸い上げられてから  
点火操作をして、各部がスムーズに動き、  
正常に燃焼することを確認してください。